

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市民会館及び名古屋市音楽プラザ

団体名：共立・名古屋共立共同事業体

(株式会社共立、株式会社名古屋共立)

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

<基本方針>

1. 市民会館のこれまでの 50 年間の歴史の流れを継続・発展させ、新市民会館への期待感醸成と、建て替えまでの安全で円滑な施設運営を行う。
2. 「文化芸術の底上げとすそ野拡大」に取り組み、名古屋市の文化振興の一助を担う。
3. 名古屋市の中核施設として、金山地区一帯の賑わいの創出や幅広い人材育成に取り組む。

②管理運営体制

<職員配置・養成計画>

- ・館長を始め、専門性が高く幅広い視野と管理能力に優れた職員を配置し、責任体制を明確化しつつも過度な縦割りとならないよう、横断的で柔軟な管理体制を構築する。
- ・働き方改革へ対応し労働基準法を遵守して勤務する。
- ・全職員のサービスレベルの統一とホスピタリティ溢れる運営に繋げるため、各業務においてその方針に沿った人材育成を実施する。

<情報の保護・公開、法令遵守（コンプライアンス）に関する計画>

- ・情報管理の責任を明確化した管理体制を構築する。
- ・各種法令に遵守した情報の取扱いと適正な公開を行う。
- ・個人情報保護・コンプライアンスに関する各規定を運用し、社会からの信頼獲得を目指す。
- ・研修の実施、各種マニュアルを整備・更新する。

<災害時の危機管理体制及び事故発生時の対応方針>

- ・指揮命令系統、各職員の役割、情報連絡フローを明確にした実践的な体制を構築し、利用者・来場者・職員を含めた全ての方の安全確保に努める。
- ・定期的な消火・避難誘導・通報・救命技能等訓練を実施し、全職員が危機に対して迅速に初動対応ができる体制を構築する。
- ・関係機関（名古屋市・警察・消防等）や地域と連携し、被害の最小化、危機からの早期復旧を図る。

＜施設の平等利用に関する計画＞

- ・利用規則（ルール）の周知徹底と確実な予約手順の実施、必要な情報の公開を行う等、施設運営の透明性を確保し、利用者の理解が得られるよう努める。
- ・窓口で対応する担当者ごとに受付手順が変わる事のないよう各種マニュアルを整備し、いつでも誰でも同じ手順・対応で施設予約の受付を確実に行う。
- ・多様性に配慮した対応を行う。
- ・苦情の未然防止に努め、苦情発生時には迅速かつ真摯な対応を徹底する。全職員に共有・関係機関に報告し、内容及び対応方法については記録化し再発防止に努める。
- ・要望は、即時対応可能なものは利用者サービスの一環として反映し、即時対応できないものは、集計・分析・検討の上、名古屋市へ報告・相談する。

（２）実施業務の計画について

①指定管理業務

＜一般の施設利用に供する業務＞

- ・情報提供業務、問合せ・要望・苦情等対応業務、利用打合せ業務、舞台管理業務、市民会館及び音楽プラザ貸出業務、利用者満足度調査業務、利用促進業務、相談業務、支援業務、フリースペースの活用、音楽プラザ音楽サロンの活用、駐車場の管理業務 等

【利用者増加策】

- ・主催者誘致活動、公演回数増加への取り組み、主催者向けサービスの充実、情報収集・提供業務、利用者相談・支援業務 等

【高齢者・身体障がい者等への対応】

- ・偏見や差別的な対応、誤った介助対応を行わないよう全職員が知識とホスピタリティ意識をもって業務にあたる。
- ・研修の実施、ユニバーサルデザインに配慮したホームページの作成、誰でも分かりやすい印刷物や掲示物の作成 等

＜施設維持管理業務＞

- ・仕様書に基づいた建物及び設備等の定期点検や日常点検を実施し、常に安全性と快適性を維持する。
- ・関係法令等に準じた専門資格保有者及び豊富な知識や経験を持つ職員を配置する。
- ・万一の事態に備え、共同事業体として各種保険に加入する。

＜文化活動に関する相談体制＞

- ・必要資格を取得した相談員を配置し、施設の情報や専門的な相談、事業実施に関するあらゆる相談、利用計画に寄与する事業者や事業の紹介、地域的な相談のほか、ネットワークを活かして全国的な相談にも対応する。

＜文化活動に関する支援計画＞

- ・ホール利用者に対して、事前打ち合わせを的確に行い、サポートする。
- ・市民会館・音楽プラザそれぞれの利用者特性に応じたサポートの実施。
- ・「名古屋市文化芸術推進計画 2025」に掲げられた施策に応じた取り組みを実施し、文化芸術の底上げとすそ野拡大に寄与する。

＜舞台芸術公演等の誘致に関する計画＞

- ・舞台芸術業界の動向等を分析し、公演誘致の方策を効果的にプロモーター等へ働きかける。
- ・弊社グループのネットワークにより、早い段階での情報収集と誘致活動を連携して行い、共同事業体独自の事業を誘致する。

＜フリースペースの活用に関する計画＞

- ・季節に応じた飾り付け等の雰囲気作りや、絵画・写真等による企画展示を実施する。
- ・ホール催事に関連したPRについて、市民会館広場の利用促進を実施する。
- ・音楽プラザではサロンコンサートや関連イベントを実施するほか、情報コーナーでは鮮度のある情報発信を行う。

＜周辺一帯の賑わい創出事業に関する計画＞

- ・金山地区の地域特性と総合計画などで示される目指す方向性を前提とした、金山地区一帯の賑わい創出と、新市民会館への期待感醸成に寄与する事業展開を実施する。
- ・金山夏まつりへの協力や、地域及び各種団体との連携イベント・情報共有を行い、地域全体としての賑わい創出に努める。

＜幅広い領域の人材育成に関する計画＞

- ・次世代を担う若者が文化芸術に触れるきっかけ作りとなる、ワークショップやコンサート、講座等をはじめ、市内学生向けにインターンシップや職業体験を実施する。
- ・名古屋市の実情に合わせたアートマネジメント講座や舞台技術講座によって、専門的な人材の養成・確保を行う。

＜新型コロナウイルス感染症等への対応に関する計画＞

- ・名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」を軸に各種ガイドラインに準拠した感染防止対策を実施し、感染リスクの軽減に努める。また国・自治体からの要請やガイドライン改定、社会情勢等の変化にも臨機応変に対応する。

＜サービスの向上に関する計画＞

- ・運営業務における接客だけでなく、安心・安全で快適な空間を提供する維持管理業務全てが市民サービスに繋がっていることを意識し業務を遂行する。
- ・接客・接遇研修は全職員が受講し、接遇や清掃美化を意識したホスピタリティあふれる対応に努める。
- ・アンケートや利用者懇談会、名古屋フィルハーモニー交響楽団との連絡会を通じて満足度調査を実施し、対応可能なご指摘については迅速に対応しサービスへ反映させる。

<利用促進に関する計画>

- ・全国展開の事業は、共同事業体各社の本社営業が、東京または中部地区のプロモーター等へ施設の利用を告知する。
- ・リピーターとして定着して頂けるよう主催者へ働きかけをする。
- ・利用者満足度の向上のため、主催者・来場者に応じたサービスを提供する。
- ・劇場業務員は可能な範囲で操作業務のサポートを実施し、事故の未然防止に努める。
- ・ワンストップサービスやチケット販売サービス、近隣の情報提供・広報支援等により、利用者の利便性向上に努める。

②自主事業（実施している場合）

（３）収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<各年度ごとの提案総額（各年度ごとの総計）>

令和５年度	207,591 千円
令和６年度	199,491 千円
令和７年度	198,691 千円
合計	605,773 千円

<期間を通じた収支計画（指定期間を通じた項目別内訳）>

【収入】

（単位：千円）

費 目	内 容	金 額
指定管理料	名古屋市からの指定管理料	605,773
利用料金収入	ホール・会議室・附属設備等	972,350
その他収入	主催事業収入、自動販売機収入等	16,665
収 入 計		1,594,788

【支出】

（単位：千円）

費 目	内 容	金 額
人件費	職員人件費等	609,048
光熱水費	電気、ガス、水道料金	364,584
事務費	消耗品費、通信費、印刷費等	80,640
管理費	修繕費、委託料等	500,538
その他経費	主催事業経費、保険料、租税公課費等	39,978
支 出 計		1,594,788

※額には消費税及び地方消費税を含む。